

2. 議長あいさつ

【開会にあたって 議長あいさつより】

市議会議長の加藤でございます。本日は何かとご多用の中、また夜分お疲れのところ「第3回市民と議会の意見交換会」に多くの皆さまにご参加賜りまして誠に有難うございます。

また、平素は市議会に対しまして格別のご支援、ご協力を賜り、重ねて厚くお礼申し上げます。

東近江市も今年で合併して10年目の年を迎えました。これを機にそれぞれの地域の個性や特性を活かしたまちづくり、さらには全国的な課題であります地方創生に取り組まなければなりません。また、このような時期だからこそ、われわれ議員も資質の向上に努めると共に、さらに議会の質的改革に取り組まなければならないと考えておりますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、市議会では、議会基本条例に基づき、「開かれた議会」を目指し、議会改革に取り組んでいるところでございますが、その改革の一つとしてこの意見交換会を開催することにいたしました。

そのきっかけは、東近江市も1市6町が合併し、市域も広範囲となり「議会の情報が市民に届かない。また、市民の声が行政に届きにくくなった。」とのご意見から、議員自らが地域に出向き、議会の活動報告や行政に対する生の声を聴かせて頂いて、意見交換することの重要性を感じたからであります。

これまでも議会だよりとか本会議の生中継などで情報を提供しておりますが、一方的な情報提供であり、市民の皆さまと膝を交えて市政全般について意見交換を行う場が重要と考え、開催させていただくことにしました。

今回も基本的には中学校区単位の9地区で開催させていただきます。まだまだご期待に添えないこともあるかと思いますが、回を重ねるごとに充実して参りたいと考えております。

限られた時間ではありますが、有意義な意見交換会となりますよう皆さまのご協力をお願い申し上げまして開会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。